

2017年5月の補助機関(SB)会合およびパリ協定特別作業部会(APA)会合①

概要：日時・場所／主要項目等

- **日時・場所** 2017年5月8日(月)～5月18日(木) 於:ドイツ・ボン
- **主要項目**
 - ◆ SBSTA(科学上及び技術上の助言に関する補助機関) 会合
 - ◆ SBI(実施に関する補助機関) 会合
 - ✓ 多国間評価(Multilateral Assessment: MA)
 - 附属書 I 国の定量的排出削減目標に関する努力の比較可能性を向上させるためSBIの下で実施される評価プロセスの1つ。
 - ※日本は今次SBI会合に際して実施されるMAの対象国。
 - ◆ APA(パリ協定特別作業部会) 会合
 - ◆ 2018年の促進的対話(Facilitative Dialogue: FD)に関するコンサルテーション

日本として目指すもの

I. COP22で得られたパリ協定発効のモメンタムを引き続き維持するように、実施指針の議題について具体的な進展が得られるようにする。

II. COP23議長国のフィジーと連携し、COP23に向けた作業を進展させる。

III. 主要議題毎の目標

(1) パリ協定に係る実施指針の策定交渉

- 2018年の採択期限を見据えた技術的作業の進展
→概念的な議論から各指針の具体的要素に関する議論に移行
- 次回会合までの策定作業の合意
→早期に要素の特定及びテキスト案を基にした議論に勧めるようセッション間の作業を積極的に活用

(2) 2018年促進的対話(FD)に関するコンサルテーション

- COP23でFDのデザインを完成させることを目指して積極的にコンサルテーションに参加する

(3) 資金

- 支援の透明性の改善に向けた気候資金の計算の方法に係る技術的作業の進展を目指す

(4) 多国間評価(MA)

- 各種報告書に係る適切な説明を通じて日本の気候変動対策に関する努力と実績を発信する

(5) UNFCCC予算関連

- 既存業務の見直し等を通じてパリ協定の実施に適切な予算を検討する